

令和元年度（2019年度） 厚生常任委員会管外視察の概要

- 1 視察期間 令和元年（2019年）10月8日（火）～10日（木）
- 2 視察者 厚生常任委員会委員（8名）
内野幸喜（委員長）、西山宗孝（副委員長）、藤川隆夫、坂田孝志、末松直洋、山本伸裕、松野明美、荒川知章

3 視察の概要

(1) そらやん保育園（大阪府豊中市）

同園は、関西エアポート株式会社が平成30年4月に大阪国際空港敷地内に設置した事業所内保育所で、従業員の多様な就業形態に合わせて、年中無休、朝5時から23時までと長時間の開設時間で運用されている「企業主導型保育所」（認可外保育施設）である。

今回の視察では、今後の委員会審議等の参考とするため、企業主導型保育所の運用状況を調査した。

同園では、空港に勤務する職員のニーズに合った保育園とするため、開設前にアンケート調査を行ったほか、毎月、利用者の勤務シフトを反映した保育士配置を行うなどの工夫をしているとの説明があった。



(2) 上山市役所及びクアオルトコース（山形県上山市）

クアオルトとは、ドイツ語で「健康保養地・療養地」を意味し、温泉施設や気候性地形療法などの健康プログラムを活用した、居住する人も訪れる人も健康になるような地域づくりの取り組みをいう。

上山市では、「市民の健康増進」と「交流人口の拡大」を目指し、市民・企業・行政等が一体となり、クアオルト事業を市の重要施策に位置付け、「健康」「観光」「環境」を三本柱として、官民挙げて取り組んでいる。

今回の視察では、今後の委員会審議等の参考とするため、健康増進の観点から、クアオルト事業の取り組みを視察した。

上山市では、平成20年から取り組みを始め、現在、8か所のウォーキングコースを認定して「健康ウォーキング」を実施しているほか、旅館においても、カロリーや塩分に配慮し、地元の旬の食材を活用した旬産旬消の食事や弁当を提供する仕組みを整えているとの説明があった。



(3) 社会福祉法人こころん

(福島県西白河郡泉崎村)

同法人は、就労支援事業所を開設後、直売所、カフェ、加工所、菓子工房など事業を拡大し、さらに、人手不足の農業経営体に出向いた施設外就労や農業法人の開設等、積極的に農業部門に参入し、雇用創出や年間売上額の増加などの実績を上げている。

今回の視察では、今後の委員会審議等の参考とするため、同園の積極的な農福連携の取り組みを調査した。

こころんでは、行政や地域の方たちの協力により農業を学びつつ、遊休農地を活用するなどして事業を発展させてきた経緯等について説明があり、養鶏場や農場、カフェでの作業の様子を見学した。



(4) ニプロファーマ(株)鏡石工場

(福島県岩瀬郡鏡石町)

同工場は、グローバル対応の品質管理体制を構築しており、EU当局等の査察・承認を受けた、28か国以上への輸出可能な国内最大級の生産能力を誇る医薬品製造施設である。

今回の視察では、今後の委員会審議等の参考とするため、国際水準に準拠した医薬品の品質管理手順に沿って、県内医薬品製造業者を指導、育成するため、本施設の品質管理の取り組みを調査した。

同工場では、社内の文書管理システムや、製造工程ごとに色分けしてゾーニングされた管理体制について説明があり、実際の製造工程を見学した。



(5) 新潟学園 (新潟県新潟市)

新潟学園は、児童福祉法第44条に定める県立の児童自立支援施設であり、不良行為をなし、又はなすおそれのある児童等を対象に、必要な指導を行い、その自立を支援することを目的とした施設であり、老朽化や設備の不足等により、平成27年に全面改装された。

本県の児童自立支援施設「清水が丘学園」も昨年度にあり方を検討したところであり、今回の視察では、今後の委員会審議等の参考とするため、改装の考え方や、改装から数年を経過しての運用状況を調査した。

同学園では、社会情勢や子どもたちの変化により、2人部屋として設計された寮の居室を1人部屋としてしか利用できないなどの施設運用面の課題について説明があり、施設全体を見学した。

